

上総国一宮 玉前神社

関東屈指のパワースポット



1687年建造 本殿 幣殿 拝殿でつなぐ権現造 神社には珍しい黒漆塗



ご来光の道レイラインは日の出の位置と玉前神社を結んだ線は富士山、伊勢神宮、出雲大社が並ぶ



正面の臺股「高砂」は左甚五郎



<祭神 玉依姫>

Once upon a time その昔、海の奥深く竜宮に海の神大綿津神の娘 豊玉姫と玉依姫という姉妹が住んでいました。或る日、そこにニニギノ神とコノハナサクヤヒメの息子 海彦と山幸彦の兄弟 弟の山幸彦が兄の釣り針を海でなくしてしまい、針を探すために訪れます。山幸彦と豊玉姫は出会い、二人は恋に落ち、結ばれ、竜宮城で仲睦まじく暮らします。しかし、山幸彦は時がたつにつれ、だんだんと陸が恋しくなってきました。不憫に思った豊玉姫へ釣り針を返し、山幸彦を陸へと戻してあげました。

丁度そのころ、豊玉姫はすでに山幸彦との子供を宿していました。彼の後を追うように妹玉依姫に同行して陸へと上がってきます、そしていよいよ出産の時、豊玉姫は山幸彦にこう願います。「お願いだからわたくしが子供を産む所は見ないでくださいね。」ところが山幸彦はそっと覗いてしまいました。なんと・・・そこにいたのは豊玉姫ではなく出産に悶え苦しむ大きなワニザメでした。

自分の本当の姿を見られてしまった豊玉姫は悲嘆し、海の奥底深い竜宮城へと帰ってしまいました。その時、生まれた子供を妹 玉依姫に託します。玉依姫はかいがいしく、その子供を育てやがて後にその子供と結ばれます。そして四人の子供を設けます。その子供の一人が日本の初代天皇神武天皇といわれています。つまり、玉依姫は愛の神様です、よってその玉依姫が祭神である玉前神社は「縁結び 子授け 安産 子育て」等にご利益があります。